

2016 BUSINESS REPORT

アイエーグループ株式会社

<証券コード 7509>



第33期 中間報告書

2015.4.1 ~ 2015.9.30



アイエーグループは、「グッドカンパニー」を目指します。

当社は1984年に創業をしました。

1996年9月には現ジャスダック市場に株式を公開しております。

2008年10月には純粋持株会社体制への移行に伴い、商号を株式会社アイエーからアイエーグループ株式会社に変更致しました。

当社グループの創業の「志」は、グッドカンパニーを創ることにあります。

当社が目指すグッドカンパニーとは、お客様および社会にとって存在価値の高い会社であり、社員にとってやり甲斐と自分自身の大きな成長が見込める会社であります。

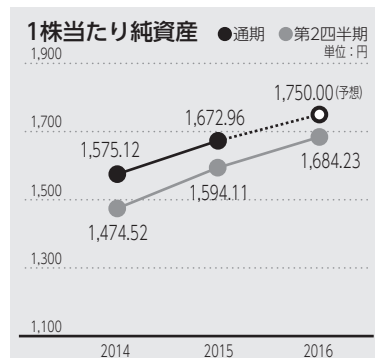
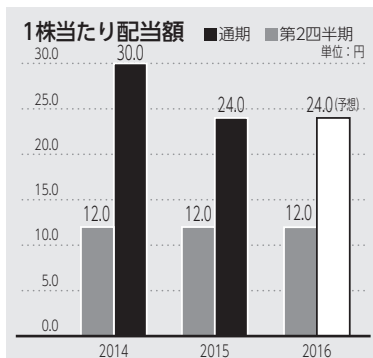
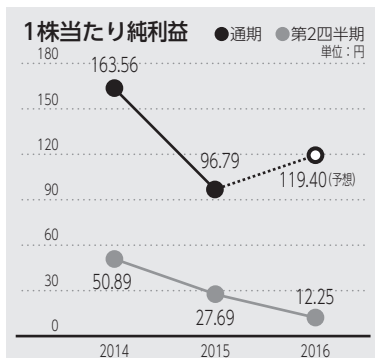
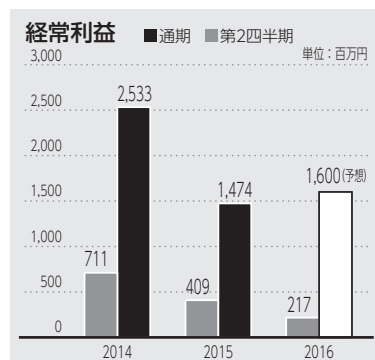
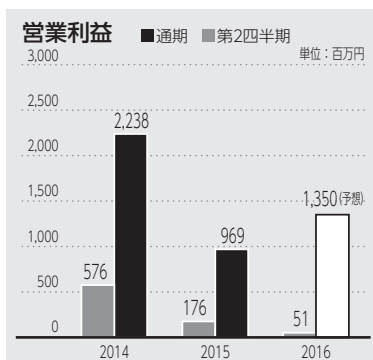
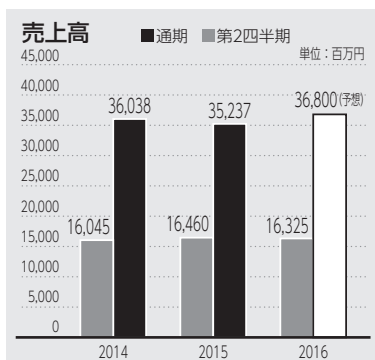
社員各人がさまざまな知恵や新たな発想、そしてチャレンジ精神をもってアイエーグループの会社に参加することにより、まさに会社を「自己拡大の場」「自己実現の場」としていただきたいと考えます。

会社のために「人」が在るのではなく、「夢を持った人」のために会社が在る、というように努めたいと思います。

私達は常に、明るく・元気に・楽しく、を合言葉に「志」の達成に向け会社一丸となって努力してまいります。

企業理念

1. 社員の成長と発展を願い、仕事環境の創出を致します。
2. 社会との関わりを大切にし、豊かな社会作りに貢献致します。
3. 時流変化を正しく認識し、絶えざる革新を行う企業経営に邁進致します。



株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

当社は、2015年9月30日をもちまして、第33期の第2四半期連結累計期間(2015年4月1日から2015年9月30日まで)を終了いたしましたので、ここにご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用や所得の改善を背景に緩やかな回復基調で推移しました。その一方、アベノミクス政策の息切れ感や中国経済に減速懸念が見受けられるなど、その先行きには慎重な見通しが必要な状況にあります。

そのような中、当社グループにおきましては前年同期と比較して、カー用品事業は増収増益となりましたが、プライダ事業および建設不動産事業が減益となるなど、厳しい経営を余儀なくされました。

カー用品事業につきましては、2014年5月に株式会社オートバックス神奈川の株式取得によりオートバックス3店舗・スーパーオートバックス1店舗を加えた32店舗の営業となりました。利益率の高いピットサービス部門の強化を行うとともに、スケールメリットを生かした販売促進の実施等による販売管理費の節減の結果、増収増益となりました。

プライダ事業につきましては、2014年9月、および2015年3月に開業しました2式場を加えた7式場による営業となりました。このことにより、施行組数の増加は図られましたが、既存の式場における施行組数および施行単価が前年同期に比べて減少したこと、ならびに施設費の増加等



代表取締役社長
古川 教行

により増収減益となりました。

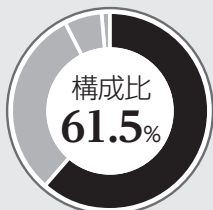
建設不動産事業につきましては、2015年4月に業容拡大の一環としてコンテナのユニット建築を行う株式会社IDMobileを設立しました。しかし、前年同期は大型高収益物件の売却を行ったことから、前年同期と比べて減収減益となりました。

その他の事業につきましては、コメダ珈琲を2014年9月に2店舗、同年10月に1店舗オープンさせ3店舗による営業となりましたが、2014年7月にコンピューターソフト事業の事業譲渡を行ったことなどにより、減収減益となりました。

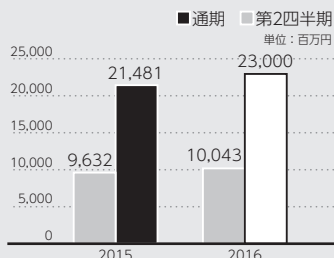
以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は16,325百万円と前年同期比0.8%の減収となりました。また、営業利益につきましては51百万円(前年同期比70.9%減)、経常利益につきましては217百万円(前年同期比46.9%減)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は101百万円と前年同期比57.4%の減益となりました。

アイエーグループの主要ビジネス

カー用品事業



売上高**10,043**百万円

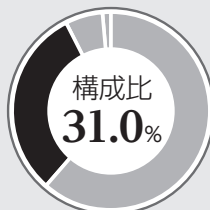


事業戦略

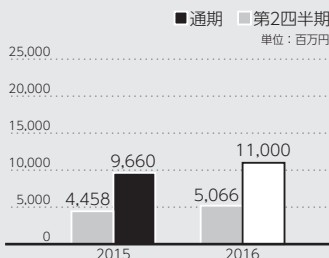
- ・社員教育の強化
(国家整備士取得推進、体系的な階層別・職種別研修の実施)
- ・ピットサービス部門の強化
(運輸局指定工場認可の推進)
- ・事業領域の拡大
(タイヤ預かり事業の推進)



ブライダル事業



売上高**5,066**百万円

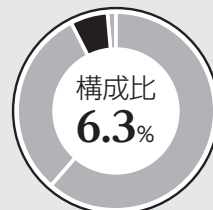


事業戦略

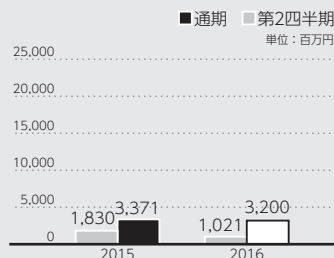
- ・顧客満足の更なる向上
(質の向上プロジェクトの推進、社員教育強化)
- ・施設の鮮度管理
(継続的リニューアルの実施)
- ・ブランディング戦略
(新規市場の知名度の向上)
- ・エリア本部制として迅速な経営判断と責任の明確化
(関東、中部、関西の3エリア制)



建設不動産事業



売上高**1,021**百万円



事業戦略

- ・所有物件の安定利回り維持による収益の確保
- ・グループ資金を利用した高収益物件の適時購入確保
- ・グループ資産の管理・運営および建築・管理営繕プロデュース



トピックス

カー用品事業

カー用品事業(新規事業)の紹介

タイヤ預かり事業 2014年10月～

(店舗倉庫11ヶ所・自社倉庫5ヶ所)

国土交通省認定 大型専用倉庫設置

神奈川県下(相模原市・横浜市・海老名市・川崎市) 岐阜県下(岐阜市)

江田倉庫



海老名倉庫



相模原倉庫



川崎倉庫



岐阜倉庫



ブライダル事業

水・緑・光あふれる
癒しの
リゾートウエディング

アルカンシエル南青山

(2015年3月グランドオープン)

ブライダル事業(新規オープン)



片町市街地再開発エリアの複合施設最上階にアルカンシエル金沢オープン予定



伝統の街(金沢)に
緑と光があふれた天空の
ウエディングステージ

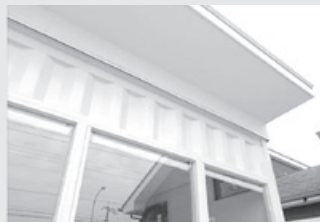
アルカンシエル金沢

(2016年3月グランドオープン予定)

建設不動産事業

コンテナ建築「IDMobile」の紹介

Cafe -cum- Residence (店舗兼住居Ver./九十九里浜)



2015年4月1日 株式会社IDMobile を設立致しました。IDMobile® は、IDMの登録商標です。

「IDMobile」は、コンテナ特有の「強さ」「移動性」「ストック性」を活用し、全く新しい発想で「必要な時に必要なだけ」利用することの出来る、次世代型ユニット建築です。

①強さの秘密 ②環境にやさしい工法 ③速さの秘密

事業展開

東海・関西エリア

「オートボックス」…………… 6店舗
「スーパーオートボックス」… 1店舗
「アルカンシエル」…………… 5店舗

首都圏エリア

「オートボックス」…………… 20店舗
「テクノキューブ」…………… 12店舗
「アルカンシエル」…………… 2店舗
「スーパーオートボックス」… 3店舗
「フィールズ」…………… 3店舗
「コメダ珈琲」…………… 3店舗



首都圏・東海・関西 合計 【グループ全社 57店舗】

「オートボックス」	26店舗	「スーパーオートボックス」	6店舗
「テクノキューブ」	12店舗	「アルカンシエル」	7店舗
「フィールズ」	3店舗	「コメダ珈琲」	3店舗

連結財務諸表

■連結貸借対照表

(単位:千円)

資産の部		
科目	当第2四半期末 (2015年9月30日現在)	前期末 (2015年3月31日現在)
流動資産	9,537,641	9,249,498
現金及び預金	1,693,128	1,374,663
売掛金	1,080,449	1,101,617
たな卸資産	5,700,132	5,449,524
繰延税金資産	399,500	376,233
その他	677,486	960,408
貸倒引当金	△13,055	△12,949
固定資産	22,068,079	22,325,353
有形固定資産	15,612,660	15,752,702
建物及び構築物	9,341,770	9,724,043
土地	5,131,239	5,039,798
建設仮勘定	295,164	10,800
リース資産	282,721	330,921
その他	561,765	647,138
無形固定資産	399,628	442,730
のれん	306,492	349,263
その他	93,136	93,467
投資その他の資産	6,055,789	6,129,920
投資有価証券	205,257	198,115
長期貸付金	24,051	25,219
長期前払費用	476,214	508,082
差入保証金	4,392,732	4,437,653
繰延税金資産	851,716	855,887
その他	128,856	128,447
貸倒引当金	△23,039	△23,487
資産合計	31,605,720	31,574,851

負債の部		
科目	当第2四半期末 (2015年9月30日現在)	前期末 (2015年3月31日現在)
流動負債	8,184,878	7,930,169
買掛金	1,625,030	1,313,816
短期借入金	3,092,444	3,368,720
未払法人税等	153,084	82,775
未払消費税等	222,268	194,690
未成工事受入金	34,967	38,626
賞与引当金	438,662	386,977
役員賞与引当金	—	52,000
ポイント引当金	220,469	201,784
繰延税金負債	83,076	83,614
その他	2,314,875	2,207,163
固定負債	9,486,481	9,634,271
長期借入金	6,401,448	6,602,911
長期預り保証金	1,242,060	1,191,650
退職給付に係る負債	342,392	341,901
役員退職慰労引当金	225,000	200,000
資産除去債務	1,070,093	1,062,490
繰延税金負債	16,500	16,500
その他	188,985	218,817
負債合計	17,671,359	17,564,441
純資産の部		
株主資本	13,877,878	13,958,824
資本金	1,314,100	1,314,100
資本剰余金	1,824,791	1,824,791
利益剰余金	11,854,185	11,852,922
自己株式	△1,115,197	△1,032,989
その他の包括利益累計額	56,482	51,585
その他有価証券評価差額金	58,679	53,987
繰延ヘッジ損益	△2,196	△2,402
純資産合計	13,934,361	14,010,410
負債・純資産合計	31,605,720	31,574,851

(記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。)

■ 連結損益計算書

(単位:千円)

科目	当第2四半期(累計)	前第2四半期(累計)
	自 2015年4月 1日 至 2015年9月30日	自 2014年4月 1日 至 2014年9月30日
売上高	16,325,582	16,460,525
売上原価	9,214,452	9,706,658
売上総利益	7,111,129	6,753,866
販売費及び一般管理費	7,059,727	6,577,345
営業利益	51,402	176,521
営業外収益	207,025	284,303
営業外費用	40,951	50,886
経常利益	217,477	409,938
特別利益	124	78,663
特別損失	97	28,541
税金等調整前四半期純利益	217,503	460,060
法人税、住民税及び事業税	115,745	221,185
親会社株主に帰属する四半期純利益	101,758	238,875

(記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。)

会社概況

会社概要 (2015年9月30日現在)

■ 商号	アイエーグループ株式会社
■ 設立	1984年3月21日
■ 資本金	13億1,410万円
■ 商号変更	2008年10月1日
■ 代表者	代表取締役社長 古川 教行
■ 本社	神奈川県横浜市戸塚区品濃町545番地5
■ 事業内容	社内外に対してグループの方向性を明示するとともに、各種の専門サービスをもってグループ各社の事業運営を支援すること。
■ ホームページ	http://www.ia-group.co.jp/
■ 社員数	1,041名(グループ全社)
■ 株式上場取引所	東京証券取引所(銘柄コード7509)
■ 取引銀行	横浜銀行 東戸塚駅前支店 三菱東京UFJ銀行 戸塚駅前支店 三井住友銀行 横浜駅前支店 みずほ銀行 横浜駅前支店 三菱UFJ信託銀行 本店 大垣共立銀行 岐阜支店

主要関係会社 (2015年9月30日現在)

- **株式会社アイエー** <http://www.i-a.co.jp/>
カー用品事業
日本最大のカー用品総合専門店チェーン「オートボックス」
「スーパーオートボックス」および車検専門店「テクノキューブ」
のフランチャイジー店舗の経営
・株式会社アイエーマネージメントサービス
提携企業の店舗指導・支援およびコンサルティング事業
- **株式会社アルカンシエル** <http://www.arcenciel-g.jp/>
ブライダル事業
ハウスウエディングスタイルの結婚式場の経営
・株式会社アルカンシエルプロデュース
ブライダル事業に関わるコンサルティング事業
- **株式会社アイディーエム** <http://www.idm-net.jp/>
不動産販売管理事業
総合不動産事業、「フィールズ」店舗による不動産賃貸仲介サービス業務、ならびに建設事業
・株式会社アイディーエムパートナーズ
不動産管理業務
・株式会社IDMobile
コンテンツユニットの設計および企画製造販売業務
- **株式会社IAGアセット** <http://www.iag-asset.jp/>
保有不動産管理事業
グループ資産の管理・運営
・株式会社IAGコンストラクション
不動産開発・管理・建設事業
・株式会社エフ・エム・クラフト
保有不動産管理業務

役員 (2015年9月30日現在)

代表取締役社長	古川 教行
取締役副社長	田畑 憲士
専務取締役	小野 敦
取締役	川井 一秀
取締役	岡野 良信
取締役	足立 浩二
取締役	藤井 敏光
常勤監査役	野村 光夫
監査役	橋爪 俊一
監査役	今成 達之

(注) 監査役橋爪俊一氏および今成達之氏は、社外監査役であります。

株式の状況 (2015年9月30日現在)

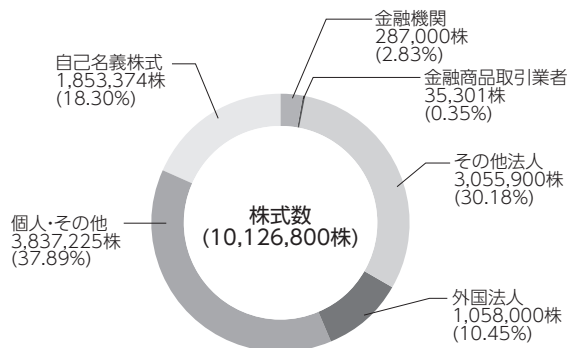
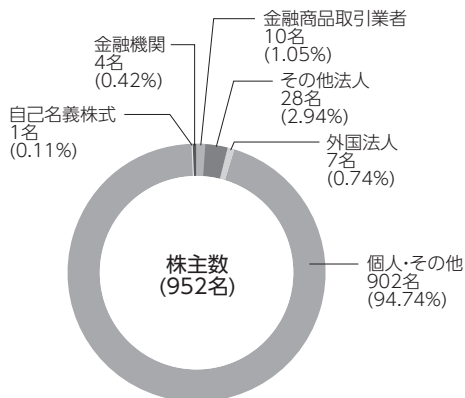
発行可能株式総数	26,744,000株
発行済株式の総数	10,126,800株
株主数	952名

大株主 (上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
有限会社草創	2,770	33.48
ピー・イー・フォー・ファイティ ロー ライズド ストック ファンド	802	9.69
古川教行	302	3.66
古川恵子	301	3.64
株式会社横浜銀行	231	2.79
小黒良太郎	216	2.61
田畑憲士	190	2.29
川井一秀	186	2.25
株式会社オートバックスセブン	180	2.17
小黒美樹子	135	1.63

(注) 持株比率は自己株式(1,853,374株)を控除して計算しております。

株式分布状況



株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 電話0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告 公告掲載 URL http://www.ia-group.co.jp/ ただし、事故その他やむを得ない事由により、電子公告によることができない場合には、日本経済新聞に掲載いたします。

(ご注意)

- 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。
口座を開設されている証券会社等にお問合せください。
株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。
なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株式に関するお手続きについて

○特別口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お 問 合 せ 先	
○特別口座から一般口座への振替請求	特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 電話0120-232-711 (通話料無料) [手続き書類のご請求方法] ○音声自動応答電話による請求 0120-244-479 (通話料無料) ○インターネットによるダウンロード http://www.tr.mufg.jp/daikou/
○単元未満株式の買取請求		
○住所・氏名等のご変更		
○特別口座の残高照会		
○配当金の受領方法の指定(※)		
○郵送物等の発送と返戻に関するご照会	株主名簿 管理人	
○支払期間経過後の配当金に関するご照会		
○株式事務に関する一般的なお問合せ		

(※)特別口座に記録された株式をご所有の株主様は、配当金の受領方法として株式数比例配分方式はお選びいただけません。

○証券会社等の口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お 問 合 せ 先	
○郵送物等の発送と返戻に関するご照会	株主名簿 管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 電話0120-232-711 (通話料無料)
○支払期間経過後の配当金に関するご照会		
○株式事務に関する一般的なお問合せ		
○上記以外のお手続き、ご照会等	口座を開設されている証券会社等にお問合せください。	

